



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4082

URL <https://www.dkkk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 井上 剛

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 松本 克己 (TEL) 06-6206-3311

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,344	△36.4	187	△80.2	44	△95.1	△63	—
2020年3月期第1四半期	6,835	△5.1	948	△27.5	897	△28.4	615	△25.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △85百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 634百万円(△14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△2.61	—
2020年3月期第1四半期	25.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	51,842	29,203	55.3
2020年3月期	51,201	29,531	56.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,657百万円 2020年3月期 28,995百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期(予想)の第2四半期末配当金及び期末配当金につきましては未定としております。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	24,400,000株	2020年3月期	24,400,000株
2021年3月期1Q	156,043株	2020年3月期	156,043株
2021年3月期1Q	24,243,957株	2020年3月期1Q	24,211,593株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	2020年3月期 第1四半期実績 (百万円)	2021年3月期 第1四半期実績 (百万円)	前期比 (%)
売上高	6,835	4,344	△36.4
触媒	4,163	2,305	△44.6
電子材料・酸素センサー	723	591	△18.3
ファインセラミックス	750	603	△19.6
耐火物・ブレーキ	680	470	△30.9
その他	518	374	△27.8
営業利益	948	187	△80.2
経常利益	897	44	△95.1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	615	△63	—

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における世界経済は、世界各地域で新型コロナウイルスが猛威を振るい、欧米では感染症拡大に伴う外出規制や店舗の営業禁止等が実施され、国内においても緊急事態宣言が発令されるなど企業活動に影響を及ぼしました。

当社グループの主要顧客であります自動車産業におきましては、世界的に自動車販売台数が大幅に減少し、金融危機以降見られなかった水準にまで低下しました。

当社グループにおきましても、当第1四半期連結累計期間において、世界全体を覆う新型コロナウイルスによる感染拡大の深刻な影響を受け、主力の自動車排ガス浄化触媒材料をはじめとする自動車関連製品の販売が大きく減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売数量が前年同期比で36.6%減少した影響等により4,344百万円(前年同期比36.4%減)、営業利益は、販売数量減による影響等により187百万円(前年同期比80.2%減)、経常利益は、為替差損の計上等により44百万円(前年同期比95.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は63百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益615百万円)となりました。

用途別の販売状況は、次のとおりであります。

## (触媒用途)

当社グループの主力製品である自動車排ガス浄化触媒材料の最大の市場である中国においては、かねてから取り組んできました現地販売子会社による在庫販売により、規制緩和などの景気テコ入れ策や自家用車見直しの動きに伴う需要をいち早く取り込み、最悪期を脱し回復傾向にあります。しかし、その他の主要国においては、新型コロナウイルスによる影響が顕在化し、自動車販売市場悪化の影響を大きく受けて、前年同期を大きく下回る結果となりました。

これらの結果、触媒用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、2,305百万円(前年同期比44.6%減)となりました。

## (電子材料・酸素センサー用途)

電子材料は、新型コロナウイルスの影響により、自動車及びスマートフォンの販売台数減少、電子部品業界全体の生産調整を受けて、圧電素子やセラミックコンデンサ用途の売上高が減少しました。

また、これまで非常に好調に推移してきた二次電池材料におきましても、新型コロナウイルスの影響により、中国における工場停止や需要減による在庫調整を受けて売上高は減少しました。

酸素センサー材料においても、自動車販売市場悪化の影響を受けて、売上高は減少しました。

これらの結果、電子材料・酸素センサー用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、591百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

## (ファインセラミックス用途)

当社グループが次世代主力製品と期待する燃料電池材料は、新型コロナウイルスの影響は比較的小さく、販売は堅調に推移しました。一方で、キッチンセラミックス材料、歯科材料及び産業用構造部材は、新型コロナウイルスの影響を受けて需要が著しく低下し販売は伸びず、売上高は減少しました。

これらの結果、ファインセラミックス用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、603百万円(前年同期比19.6%減)となりました。

(耐火物・ブレーキ用途)

耐火物材料は、世界粗鋼生産量の50%超を占める中国の過剰生産によって、他の主要各国が生産量を調整している中、自動車産業並びに造船業の鉄鋼需要が落ち込み、売上高は減少しました。ブレーキ材においても、自動車販売台数の減少により、売上高は減少しました。

これらの結果、耐火物・ブレーキ用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、470百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

(その他用途)

アルミニウム配管のろう付に使用されるセシウムフラックスは、家電用は前年並みに推移したものの、自動車用は販売台数減少の影響を受け、売上高は前年同期比で減少しました。液物製品等の販売は堅調に推移しましたが、一部顧客の在庫調整の影響等を受けて、その他用途の売上高は、前年同期比で減少しました。

これらの結果、その他用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、374百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は51,842百万円で、前連結会計年度末に比べ640百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加（2,011百万円）、有形固定資産の増加（988百万円）、受取手形及び売掛金の減少（1,406百万円）によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は22,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ968百万円増加しました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加（1,373百万円）、短期借入金の増加（700百万円）、未払法人税等の減少（516百万円）、支払手形及び買掛金の減少（396百万円）によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は29,203百万円で、前連結会計年度末に比べ328百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少（305百万円）によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末56.6%から55.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスは、世界各地の経済活動に深刻な影響を与えており、世界の自動車販売台数は大きく減少しております。また、世界的な自動車販売台数の早期回復は難しく、サプライチェーン全体を通じた大規模な在庫調整が行われています。その結果、当社グループにおきましても、出荷減少により増加した在庫量を調整する目的で第2四半期以降に生産調整を行う計画であります。生産調整の時期及び程度によって期間損益に影響を与えるため、現時点で2021年3月期の連結業績見通しの算定は困難であり、引き続き未定とさせていただきます。なお、算定が可能となり次第、速やかに開示させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,488,522	10,499,531
受取手形及び売掛金	5,056,773	3,650,176
有価証券	500,000	500,000
製品	5,236,106	5,511,820
仕掛品	2,125,207	2,053,603
原材料及び貯蔵品	3,364,163	3,190,018
その他	2,247,887	1,365,744
流動資産合計	27,018,660	26,770,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,153,659	5,061,240
機械装置及び運搬具(純額)	4,365,750	4,094,634
土地	1,752,062	1,752,062
建設仮勘定	6,445,723	7,844,581
その他(純額)	559,706	512,768
有形固定資産合計	18,276,902	19,265,287
無形固定資産	1,169,147	1,127,388
投資その他の資産	4,737,128	4,678,535
固定資産合計	24,183,178	25,071,211
資産合計	51,201,838	51,842,106
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,026,835	629,956
短期借入金	1,600,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,768,586	3,040,264
未払法人税等	550,955	34,685
賞与引当金	303,444	160,938
その他	1,351,512	1,302,749
流動負債合計	7,601,334	7,468,596
固定負債		
長期借入金	13,946,250	15,048,250
退職給付に係る負債	1,298	1,304
その他	121,280	120,481
固定負債合計	14,068,828	15,170,035
負債合計	21,670,163	22,638,631
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,121,672	1,121,672
利益剰余金	27,002,402	26,696,611
自己株式	△57,901	△57,901
株主資本合計	28,853,273	28,547,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,628	198,537
為替換算調整勘定	114,869	48,139
退職給付に係る調整累計額	△147,645	△136,256
その他の包括利益累計額合計	141,852	110,420
非支配株主持分	536,549	545,571
純資産合計	29,531,675	29,203,475
負債純資産合計	51,201,838	51,842,106

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,835,674	4,344,465
売上原価	4,785,305	3,065,101
売上総利益	2,050,368	1,279,363
販売費及び一般管理費	1,101,954	1,091,817
営業利益	948,413	187,546
営業外収益		
受取利息	14,636	20,105
受取配当金	12,452	9,528
助成金収入	4,224	311
その他	22,633	14,129
営業外収益合計	53,945	44,074
営業外費用		
支払利息	9,774	12,536
為替差損	91,377	160,037
持分法による投資損失	2,547	12,212
その他	1,484	2,731
営業外費用合計	105,183	187,518
経常利益	897,175	44,102
特別損失		
固定資産除却損	1,059	4,310
特別損失合計	1,059	4,310
税金等調整前四半期純利益	896,115	39,791
法人税、住民税及び事業税	240,595	26,397
法人税等調整額	39,412	66,110
法人税等合計	280,008	92,508
四半期純利益又は四半期純損失(△)	616,107	△52,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	289	10,635
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	615,817	△63,351

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	616,107	△52,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,758	23,908
為替換算調整勘定	28,618	△68,342
退職給付に係る調整額	442	11,389
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	18,302	△33,044
四半期包括利益	634,410	△85,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	633,080	△94,782
非支配株主に係る四半期包括利益	1,329	9,021



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。